学校番号	405

令和２年度　家庭科

教科	家庭	科目	家庭総合	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	「家庭総合　パートナーシップでつくる未来」　（実教出版）						
副教材等	ニューライブラリー　家庭科　資料＋成分表２０１９（実教出版）						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

〇家庭生活に関心をもち、積極的に取り組みましょう

・生活の様々な現象や課題をワークショップや演習等を通して考え、理解を深め知識を身に付けます。友だちの考えを知り、多様な考え方を学び、自分の考えをもちましょう。

・実践的・体験的な学習を通して、科学的な理解に基づいた確かな技術を身に付けます。

・学んだことを自分の生活の問題として捉え、よりよい生活をめざします。

２　学習の到達目標

人の一生と家族、子どもの発達と保育、高齢者の生活と福祉、衣食住、消費生活などに関する知識と技術を総合的に習得させ、生活課題を主体的に解決するとともに、家庭生活の充実向上を図る能力と実践的な態度を育てる。

３　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:技能	d:知識・理解
観点の趣旨	人の一生、生活全般について関心をもち、その充実向上を目指して意欲的に取り組むとともに実践的な態度を身につけている。	人の一生、生活全般について見直し、生活課題を見つけ、その解決を目指して思考を深めている。	人の一生、生活全般に関する基礎的・基本的な技能を身につけている。	人の一生、生活全般に関する基礎的・基本的な知識を身につけている。
評価方法	学習状況の観察 ノートやワークシートの記述 調理計画、製作計画、実習記録表 レポート、発表 自己評価　等	学習状況の観察 ノートやワークシートの記述 調理計画、製作計画、実習記録表 レポート、発表 定期考査の結果 自己評価･相互評価等	学習状況の観察 ノートやワークシートの記述 写真、製作品 観察記録表 レポート、発表 定期考査、実技テストの結果 自己評価・相互評価等	学習状況の観察 ノートやワークシートの記述 調理計画、製作計画、実習記録表 観察記録表 レポート、発表 定期考査の結果等
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。 学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。				

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
1学期	自分らしい生き方と家族	・自分を見つめる ・自立した生き方、共に生きる人生 ・共に生きる家族 ・家族に関する法律 ・私たちの生活を支える労働と生活時間	○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○	 ○ ○	○ ○ ○ ○ ○	a:家族のあり方の関心をもたせ、生き方を考える。家族法に関心をもち、将来の設計に役立てようとする。 b:自分から家族を見つめ、人の一生という視点で家族を考える。家族法から、自分にかかわる法を当てはめることができる。 c:自分のライフコースを描き、家族に対して協力しようとする。家族、家庭の法律が一生を通じて関わっていることを理解する。 d:自主的に家族を知り、人の一生という視点から家族を理解する。家族に関する法律を理解する。	授業観察 ワークシート 製作計画 レポート、発表 自己評価等 定期考査
1学期	消費者として自立する	・消費行動と意思決定 ・社会の変化と消費生活 ・消費者の権利と責任 ・持続可能な社会循環 ・経済のしくみを知る ・ライフステージと経済計画	○ ○ ○ ○ ○ ○	 ○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○ ○	a:消費のあり方に関心をもち、お金の動きを家計から知り、生活に役立てる。お金に流されない消費を考え、生活に役立てる。消費者問題に関心をもち、自分たちの生活に役立てる。 b:家計の消費が国民経済にどのように影響しているかを考え、家計診断から家計の改善を考えられる。消費生活の問題点を指摘し、消費者の権利と責任を明確に判断する。 c:家計の管理ができる。消費が豊かな生活となるよう指摘し、豊かな生活を送るための知識を生活に役立て、消費者の自立に求められるものを理解した上で行動できる。 d:家計の内容を理解し、家庭の経済が国民経済を動かしていることを知る。消費者に求められていることを理解し、消費者の権利と責任を考える。	授業観察 ワークシート レポート、発表 自己評価 他者評価 相互評価等 定期考査

1、2学期	ホームプロジェクトと学校家庭クラブ	○ホームプロジェクトと学校家庭クラブ活動 ＊自由テーマ 調査研究、個人発表	○	○	○	○	a:ホームプロジェクトと学校家庭クラブ活動について関心をもち、主体的に学習に取り組もうとしている。 b:生活上の課題を見いだし、その解決をめざして科学的に探究し、表現している。 c:計画に沿ってホームプロジェクトや学校家庭クラブ活動を実践することができる。 d:ホームプロジェクトと学校家庭クラブ活動の実践に必要な知識を身に付けている。	ﾚﾎﾟｰﾄ 発表 自己評価 相互評価
2学期	子どもとかかわる	・子どもを知る ・発達のすばらしさ ・子どもの生活 ・親になることを考えよう ・すこやかに育つ環境	○ ○ ○ ○ ○	 ○ ○ ○ ○	 ○ ○ 	○ ○ ○ ○ ○	a:子どもに関心をもち、育つことの意味を知り、子どもの成長を見つめるようになる。親の役割を理解する。社会と子どものかかわり、子どもの福祉に意欲的に取り組む。 b:子どもの成長過程で求められているものを考え、子どもと親のかかわりをさまざまな事象を通して考えてみる。子どもの福祉について、「少子高齢化」の側面を考慮して考える。命の尊さから出産を見つめることができる。 c:保育を自分の問題としてとらえ、子どもの成長過程への理解を深め、知識を活かそうとする。親と子どもの関係を考え、そのあり方を表現できる。子どもによい福祉を考え、子どもとの交流ができる。 d:子どもの成長を見て、子どもについて考え、親とのかかわり方を理解する。自分が親になることを想定して子どもとのかかわり方を考えることができる。子どもの福祉についての様々な制度を理解する。	授業観察 ﾜｰｸｼｰﾄ 製作計画 ﾚﾎﾟｰﾄ、発表 体験実習 自己評価 他者評価 相互評価等 定期考査

3学期	高齢者とかかわる・	・高齢社会に生きる私たちの暮らし ・高齢者を知る ・高齢者の自立のために私たちができること ・豊かな高齢期を迎えるしくみ	○ ○ ○ ○	 ○ ○ ○	○ ○ 	○ ○ ○ ○	a:高齢者に対して関心をもち、高齢社会について関心を深める。高齢者の立場で介護や交流を行う。 b:高齢者の立場に立って、高齢者に対する実態や課題を考え、日常の介助を考えることができる。 c:高齢者に対し、同じ目線で対応し、学びを活かす。また、高齢者の福祉に対しても具体的に考えて理解を深め、介護や介助の実習で高齢者との交流を深められる。 d:高齢者の特徴を理解した上で、自分らしく生きる高齢社会を考える。また、自らが高齢者になることを想定できる。高齢者との交流や介護を理解する。	授業観察 ワークシート レポート、発表 体験実習 自己評価 他者評価 相互評価等 定期考査
3学期	社会とかかわる	・支えあう暮らしとは ・私たちの社会福祉 ・地域社会の一員としてのボランティア活動 ・	○ ○ ○	○ ○ 	 ○ ○	○ ○ ○	a:どのような社会福祉が求められているのかを知る。 b:社会保障制度の将来を考えることができる。 c:社会福祉を自分の問題として考え、今後に役立てようとする。 d:社会保障制度を自分なりに理解する。	授業観察 ワークシート レポート、発表 定期考査

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　b:思考・判断・表現
c:技能　d:知識・理解

※　年間指導計画（例）作成上の留意点
・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。